

日本共産党 日立市議団ニュース

№. 20 2003年11月27日

発行 日本共産党日立市議団

連絡先 日本共産党北部地区委員会

日立市石名坂町 1525-21 / (53)8501



小林真美子

(21)4919



大曾根勝正

(52)1570

ご相談はお気軽にどうぞ

公務員と民間の「賃下げ悪循環」をまねいている 市職員給与引き下げに反対

11月25日(火)臨時議会が開かれ、人事院勧告による市職員等の給与額の引き下げ等を審査しました。今回の人事院勧告は公務員給与を五年連続で引き下げるもので、削減額は過去最高です。民間にあわせるなどの理由で公務員給与引き下げの勧告が出されてきました。小林真美子市議は、これが民間労働者に対する賃下げ圧力に利用され「賃下げ悪循環」をまねいていると指摘し、「個人消費を冷え込ませ、経済に悪影響をもたらす」と反対討論をしました。市職員給与引き下げの議案に大曾根市議、小林市議は反対しました。

日立電鉄線廃止くいじめ存続を

11月25日の日立市議会の全員協議会で、日立電鉄株式会社から10月16日に日立電鉄線の廃止計画検討申し入れがされたことについての市の対応などが報告されました。平成17年3月31日をもって廃止、国土交通省への届出は平成16年初頭頃との申し出に、日立市では常陸太田市と連名の存続の要望書を日立電鉄に出しています。大曾根勝正市議は「日立電鉄線は沿線6高校の学生など一日当たり4,800人利用しており、どんな形であれ存続を考えていかなければならない」として市の交渉姿勢を質問しました。市は「鹿島鉄道支援策を研究している。廃止は高校の新入生の足がなくなる。存続を求めていく」などと答弁しました。

11月26日、大曾根市議と小林市議は、大内久美子県会議員、宇野隆子常陸太田市議、藤田邦良党地区副委員長とともに、日立電鉄株式会社に日立電鉄線存続の要望を申し入れました。瀬谷光昭取締役は、乗客の激減、設備等の老朽化などから収入のわりに負担が大きく経営が厳しいなどと説明、それに対して存続を強く要望しました。

日本共産党北部地区委員会ホームページは <http://www.jcp-net.jp/ibahoku> です。

「日立市議団ニュース」のバックナンバーもご覧いただけます。
ご意見、ご感想をお寄せ下さい。

イラクへの自衛隊派兵反対！ 憲法守れ！ 署名行動

11月24日に平和通り伊勢甚前で、イラクへの自衛隊派遣反対の署名行動を行いました。これは小林市議など日本共産党日立市委員会が、ハンドマイクで自衛隊派遣は憲法違反であり、日本の若者を戦死させるなど訴えながら一時間ほど行ったもので、72筆の署名を集めました。

署名した人から「(自衛隊派遣は)とんでもないことです。がんばってください。」など激励が寄せられました。

この署名は国会に届けられます。読者の皆さん、署名のご協力よろしくお願いたします。



日立市十王町合併協議会 水道料金は値上げなし

日立市議会の全員協議会で、合併協議会の協議の報告がされました。日立市よりも高い料金をとる十王町に調整され値上げが心配されていた水道料金は、日立市の料金に合わせることになり値上げはしないことになりました。小林市議は合併後まもなく値上げになることがないよう要望しました。